

Mémoire 2024

第49回 エリザベス女王杯(GI)



復活の花が咲き誇る スタニングローズ

秋華賞馬が「薔薇一族」の底力で2年ぶりの復活勝利を挙げた。1番人気は3歳馬レガレイラ。ホープフルS勝利後は皐月賞6着、日本ダービー5着、ローズS5着と勝ち切れていなかったが、その才能を信じるファンは単勝1.9倍の断然の人気に支持。しかし勝ったのは、もう1頭のGIホースであるスタニングローズだった。

逃げたのは春に中山牝馬Sを逃げ切っているコンクシェル。少し離れてハーバーとシンリョクカが続き、スタニングローズはその後ろの4番手を追走した。1,000円59秒6という数字以上に、レースは淡々とした流れで進む。隊列がほぼ変わらないまま馬群が4コーナーに入る直前、他の馬に先んじてスタニングローズが動いた。外から先頭に並んで直線を向くと、馬場の真ん中を一気に突き抜けて独走。そのまま後続を寄せ付けず、2馬身差で押し切ってゴールした。勝ちタイムの2分11秒1は堂々のレース記録だった。

短期免許で来日中のC.デムーロ騎手は、2年前にこのレースをジェラルディーナで制して以来のJRA・GI勝ち。「少し早い仕掛けになりましたけど、人気馬が後ろから来ることも分かっていたし、前の馬

の手応えがないのも分かったので、ロングスパートをかけました」と強気の騎乗を振り返った。

スタニングローズもまた、脚部不安による約10カ月の休養もあり、これが3歳時の秋華賞以来、約2年ぶりの勝利。海外出張で不在の高野友和調教師に代わって取材に応じた小川陽一調教助手が「調教通りのパフォーマンスがやっと出せました」と安堵したように、ようやく本来の走りを披露することができた。

エリザベス女王杯は曾祖母ロゼカラーが1996年に13着、祖母ローズバドも2001年2着など3度挑んで勝てなかった。そんな名牝系「薔薇一族」の悔しさも晴らす、見事な勝利となった。

第49回エリザベス女王杯(GI)

11/10 京都競馬場 2,200m(芝・右・外) 曇・良 17頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	スタニングローズ	牝	5	56	C.デムーロ	高野 友和	2:11.1	③	④④④②
2	ラヴェル	牝	4	56	川田 将雅	矢作 芳人	2	⑫	⑧⑧⑧⑨
3	ホールネス	牝	4	56	坂井 瑠星	藤原 英昭	3/4	②	⑤⑤⑤⑤
4	シンリョクカ	牝	4	56	木幡 初也	竹内 正洋	クビ	⑥	②②③②
5	レガレイラ	牝	3	54	C.ルメール	木村 哲也	ハナ	①	⑧⑧⑩⑨

スタニングローズ
栄光の蹄跡

11

キングカメハメハ
スタニングローズ
ローザブランカ(クロフネ)
2019.1.18 生 安平・ノーザンファーム



牝5
鹿
56
C. デムーロ
1992.7.8 生 A型
南サンデーレーシング
高野 友和(栗東)

2024.7.28 札幌
北海道新聞杯クイーンSGⅢ
14ト 9人 6(108)
57*。北村 友一
芝1800稍 1:47.6

2024.5.12 東京
ヴィクトリアマイルGI
15ト 5人 9(103)
56*。西村 淳也
芝1600良 1:32.6

2024.3.31 阪神
大 阪 杯 G I
16ト 6人 8(107)
56*。西村 淳也
芝2000良 1:58.7